

藤岡市



議会だより

発行日 平成 17 年 5 月 15 日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 株式会社エスエイ印刷
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第30号



3月定例会の あらまし

定例会は、3月3日から3月18日まで16日間の会期で開催されました。

平成17年度藤岡市一般会計予算についてなど35議案、議員提出議案2件が提出されました。

3日〓本会議 会期の決定。

市長提出議案20議案を即決。

4日〓総務常任委員会。

経済建設常任委員会。

7日〓教務厚生常任委員会。

9日〓予算特別委員会。

10日〓予算特別委員会。

15日〓本会議 一般質問。

18日〓本会議 委員会付託議案2件

を可決 市長提出追加議案1

件 議員提出議案2件を即決

一般質問

木村喜徳

経費削減について

問 合併後の職員数と人件費の総額又優遇措置等で職員費を削減する考えはないか。四

役・議員の報酬については、どのように考えているか伺いたい。

答 合併後の職員数は、合計で603人となる。

人件費の総額は、約40億3千万円を見込んでいる。

職員削減については、現在2つの優遇措置を実施している。これ以上の措置を設ける考えはない。四役の報酬は今後の社会情勢、経済情勢を考慮しながら検討する。また、議員の報酬

については、平成6年の特別報酬審議会の答申により現在に至っている。議員定数については、同規模の自治体等を参考にしながら、市議会と相談をする。

補助金について

問 過去3ヶ年にわたる毎年5%の削減実績について、

また、目標としていた毎年の5%削減が出来なかった理由として、補助金交付が規則に定められた内容にのっとり運用されているのか伺いたい。

答 対象となった補助金は108件で、毎年5%の削減ができたもの83件、毎年5%の削減ができなかったもの6件、削減できなかったもの2件、廃止されたもの17件である。

補助金の削減ができなかった理由は、運営費や事業費の見直しが困難なものについては削減が出来なかった。また、補助金等の交付については、適正な管理運営に努める。

湯井廣志

国民健康保険の改善対策及び年金事務について

問 厚生年金加入者である旦那さんが亡くなった時、奥

さんまたは18歳未満のお子さんには遺族年金・未支給年金葬儀費用などを受取れるが、社会保険事務所へ申請しない限り一切支払われない。藤岡

市でこの様な未受給者を無くすために、どのような対策を考え、実行していくのか伺いたい。

答 年金の届け出についてのチラシの中に、厚生年

金などの請求届の用紙があることを明記し、速やかに実施したい。今後市民の皆様に、どのようなサービスを提供することが可能か検討したい。

問 家族の中に病院にかか

る者が複数いる場合、一枚の保険証では不便であるために、国民健康保険法施行規則が改正され、1人1枚の保険証力

ードを持つことが出来る様になりましたが、実施時期を伺いたい。

答 県下一斉にカード化を進める方向で作業を進めています。実施時期については、11市の担当者会議で協議中です。

雇用対策について

問 藤岡市のすべての労働

者が安定した雇用を確保するため、従来の産業中心型施策から、勤労者、生活者の雇用と生活の安定を最優先した施策に改めるべきであるが、今

後の藤岡市の労働者に対する施策を伺いたい。

答 雇用の安定は市政の重要課題であると認識しています。地域経済の活性化と雇用の確保・安定に取組み、市民が住み慣れた街で生活し働けるよう努めてまいりたいと考えています。

問 男女共同参画社会基本法の施行に伴い、藤岡市でも女性行動計画が策定され、制度面での男女均等取り扱いは改善されつつあるが、今だに慣行・運用面においては、男女の格差があります。当市の今後の女性労働者に対する施策を伺いたい。

答 藤岡市では働きながら子供を育てる女性労働者のために、保育、放課後児童保育サービスなど、仕事と子育ての両立を図られるように、様々な支援を推進し、職業生活と家庭生活の両面に向けた総合的な施策を図って行きたい。

茂木光雄

ゆとり教育の見直しについて

について

問 授業時間の確保のため、他市においては夏休みの短縮や2学期制の導入などさまざまな取組を行っていますが、藤岡市はどのような対策を行っているのか、又授業時間を確保出来たときどの教科に重点を入れていくのか伺いたい。

答 藤岡市では平成16年度から始業式や終業式にも給食を実施し、午後も授業をすることにより年間10時間の授業時間を確保した。平成17年度から夏期休業日を3日間短縮し、年間で28

時間程度の授業時間の増加を見込んでいる。国語教育が学力を支える基礎であるとの考えから、藤岡市においては独自に漢字ドリルを作成し漢字の読み書き等の基礎・基本の定着を図るとともに、図書館の協力で活字に触れる機会を多くしていきたい。

学校の安全について

問 学校を取り巻くいろいろな事件が起き、子供達の安全がおびやかされています。犯罪の防止に役立つのは地域の目であるといわれています。具体的には地区の保護者、自衛隊OBや警察のOBの方々から巡回パトロールに対して協力の申し出があるようすが、市として各種団体や地域のこうした申し出に對しどのように対応する所存なのか伺いたい。

答 教育委員会として2月16日学校安全の指導體制

を指示し、2月18日に藤岡警察署に学校内外の周辺パトロールの依頼をしている。その他、地域の協力をいただくよう安全対策を進めていきたいと考えている。市としては、安心安全条例を平成17年度に制定し、具体的な施策を平成18年度に実施し地域ぐるみで犯罪抑止を図りたい。防犯パトロール事業に自衛隊OBや警察OBの協力をいただければ効果もあり、実施に当たり十分検討していきたい。



安田 肇

道の駅ららん藤岡について

について

問 道の駅ららん藤岡施設内の花の交流館管理運営について、観光物産館内の販売手数料を市内業者に還元できるか、また、商業施設のテナント料の見直しについて伺いたい。

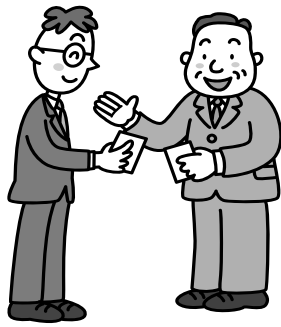
答 花の交流館の管理運営については、来年度から花卉植木部会ではなく株藤岡クロスパークが直接管理する予定です。現在、助役を中心とした花の交流館改善検討委員会を設置し、今後の管理運営方法の検討を進めていく予定ですが、花の展示に関心のある市民や団体にも呼びかけを行い、市民の皆さんの作品展示コーナーの設置なども検討していきたいと考えております。

す。観光物産館の出品業者ですが、市内業者が20社市外業者が90社となっております。販売手数料は商品の種類によって区分され14%から35%となっておりますが、販売手数料の業社への還元については、商工会議所の運営業務の範疇となるので(株)藤岡クロスパークを通じて商工会議所へ申し伝えたいと思います。また、商業施設のテナント料の見直しについては、(株)藤岡クロスパークとしては、契約更新時等に見直したいと考えており、交渉も行ってはいます。

鬼石町との合併について

問 合併後の新しいまちづくりのビジョンについて、また、公の施設の借地料について鬼石町は藤岡市と比較すると財政規模に対して借地料の割合が高いと思うが伺いたい。

答 新市の特色を生かし



新たな観光・交流の場の創出や周遊ルートの整備を進め、自動車交通の結節地域とし、特性を生かして全国の人々との交流を誘発する拠点づくりや観光拠点のネットワーク化を進めていきたいと思えます。借地料については、藤岡市の年間借地料は約5270万円、鬼石町では約3900万円となっており、合併後における借地料の設定の見直しについては、鬼石町の実情を考慮し、激変緩和措置を図りながら、平成19年度より施行する予定となっております。

三好 徹明

要望事業について

問 芦田町にあるKマート西側の第一小学校、東中学校の通学路が危険だとして10年間に4回の要望が出されてきた。今日まで何故手がつくれなかったのかを伺います。

答 平成7年、平成8年、平成11年、平成14年と要望が出されてきた。何故早く実施されなかった理由は、交通規制が平成14年に実施されたこと。芦田町地区から種々の要望について区長と事業優先の協議の結果、他の事業を毎年実施してきた。このことで当事業が遅れた。

問 当地への大型店出店に向け平成14年に業者の動きが始まっていた。大型店進出で交通量が増加し危険が増すことを予測していたか伺います。

答 大型店出店で危険が増すということ、平成17年度予算に測量費を計上した。今後協議が出てくれば必要な指導をするつもりです。



清水 保三

福祉医療について

問 藤岡市では、福祉医療について、小学校三年生までの医療費が無料化され、県下11市の中では画期的な無料化を実現している。現在所得制限を設けているが、所得制限をなくした場合どのくらいの予算が必要か、さらに今後3

学年延長したら、予算はどのくらい必要なのか伺いたい。

答 市内小学校全体の所得制限をなくした場合、試算では約8700万円です。福祉医療費については、今後も無料化を目指して充実してまいりたい。

産業廃棄物最終処分場について

問 50周年記念の報告で、市長は、清流を守り、自然を守ることは、行政の仕事だと発言しています。私も同感です。藤岡市の水源は鮎川が主流だといわれています。特に日野地区や北部水源は地下水です。それがもし汚染されるようなことがあったら大変です。先日の議員説明会の席での市長の発言は、皆さんの、意見にゆだねますと発言されました。こんなあいまいな態度は許されません。

市長は日野地区区長会から提出されている陳情について、

どのような回答をするつもりですか伺いたい。

答 産業廃棄物処分場の問題では、今まさに議員が指摘したように市民全体の運動として盛り上げて行く必要があると思っております。



申田 武

生活排水対策について

問 生活排水対策推進に係わる関係部局との連携について市民環境部の対応はどのようになっているのか伺いたい。

答 ごみの不法投棄につ

いては、環境課職員が定期的に市内をパトロールしています。そして、環境美化監視員15名が各担当地区を毎月巡回し、その報告を受け、随時撤去しております。

道路管理について

ご指摘の水質対策の各課との連携ですが、計画の段階で関係課と協議を行っております。今は必要に応じ関係各課と事業に際して打ち合わせをしております。

上、支障ありと思われる道路整備についてどのような対策をとっているのか伺いたい。

【問】 学童通学路の安全対策

【答】 学童の安全につきましては、学校やPTAからの要望によりまして、外側線を引いたり、通学路を明確化するためのグリーンベルト及び歩道の設置をしております。しかし、まだまだ学童が安心して通学できる道路整備は遅れておりますので、関係機関と協議しながら進めてまいりたい。

【問】 中村堰を起点とした、中・森立石地区を経て温井川に至る小水路の清掃作業をはじめとする環境整備の管理責任はどこにあるのか伺いたい。

【答】 中村堰流域の幹線排水路は中村堰土地改良区が管理し、末端水路は地元水利組合等が農業用水としての管理を行っております。また、住宅周辺の水路の維持管理につきましては、関係部署と協議し、現地を確認の上、地元区長とも協議し、対処していきたいと

当の年数が経過してありますので、安全確認を早急に実施したいと考えております。



大戸 敏子

藤岡市の教育対策について

【問】

【答】 平成14年からのゆとり教育は日本の学力低下を招いた。藤岡市の政策について伺いたい。

【答】 少人数指導や補充的学習、発展的学習など基本を確実に定着させるよう努力している。藤岡市では全

国標準学力テストで平均を上回り毎年向上している。2学期制実施は高崎市、群馬町、太田市など、富岡市、吉井町、前橋市、伊勢崎市は、各々独自の対策を講じている。

【問】 学校週5日制で42日も授業日数が減った。夏休み5日間短縮や2学期制等の考え又教師の質の向上の対策を伺いたい。

【答】 現行の学習指導要領では指導内容が3割程度削減されており、それで50時間の余剰時間がある。始業式や終業式後の授業実施や夏休み3日間の短縮でいきなり、2学期制は考えていない。百マス計算は補助プリントと共に活用している。校長の授業参観は年50時間ぐらいしている。教員の質の向上には県教育委員会、市教育研究所各学校で指導研修に努める。



斉藤 千枝子

介護保険制度について

【問】 改正案の主な内容について伺いたい。

【答】 要介護状態等の軽減・悪化防止に効果的な軽度者を対象とする新予防給付の創設、施設給付の見直し、地域密着型サービス及び地域包括センターの創設、事業者の情報開示の標準化、ケアマネジャーの更新制の導入、低所得者の保険料軽減等制度全般にわたり改正される予定です。

【問】 地域密着型サービスに

ついて、又通い、訪問、泊まり、入居等柔軟性のある小規模多機能型サービスを望むが伺いたい。

【答】 地域密着型サービスは事業者指定等権限が市町村長となる方向。整備については平成17年度に策定する第3期事業計画の中で計画的に進めていかなければならないと考えている。

【問】 介護予防事業が成功するか否かは藤岡市が主体的に取り組みかにかかっている。地域支援事業計画について伺いたい。

【答】 地域支援事業は、介護予防事業と高齢者に一貫性、連続性のあるマネジメントを行う包括的支援事業などがある。地域支援センターを設置し、総合相談窓口や新予防給付、介護予防サービス等を行う。設置運営については慎重に検討していきたい。

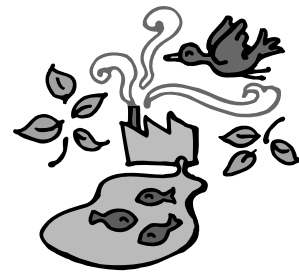
産業廃棄物最終処分場

について

【問】 藤岡保健福祉事務所に日野地区を設置場所とする廃棄物処理施設設置等協議書が提出された。地域住民の多数は、鮎川周辺地下水を飲料水とし、また鮎川を農業用水として使用しており、有害物質の汚染が懸念されることから、現地調査後の公告縦覧は藤岡保健福祉事務所だけなのか。今後いかなる業者が最終処分場設置を求めても日野地区をごみ捨て場とさせないとの断固たる意志を伺いたい。

【答】 協議書の公告・縦覧後は市としても広く市民に伝わる方法をとりたい。自然と共生する環境保全が重要であり日野高山振興計画で地域環境整備に取り組んできていることとの整合性、住民の不安が解消されない限り賛成することは

できない。そのことを踏まえ、意見書提出は断固たる姿勢で臨んでまいります。



吉田 達哉

学校等教育施設整備

について

【問】 藤岡市の学校施設は、

第二小学校の築41年が一番古く、新しい物でも23年が経過し、大規模改修する時期に来ています。各学校の耐震診断を一刻も早く実施し、耐震補強や大規模改修、建て替えを実施する考えがあるのか伺います。

【答】 学校施設の耐震補強

教職員の危機管理に

について

については、平成18年度から順次耐震診断を実施し、その結果により耐震補強工事及び大規模改修工事が建て替えか、費用対効果を総合的に検討し実施していきたいと考えております。

【問】 最近の学校では外部侵入者による児童や生徒の殺傷事件がひんばんに起こっています。まったく無防備状態の学校への侵入は容易であり、早急に対応を講じなければなりません。防犯カメラの全校設置や通用門の電動開閉扉等、施設面で二重三重の対応を講ずる必要があると思っております。考えを伺います。

【問】 全国の学校で不審者侵入事件が相次ぎ、学校の安全が崩壊したことを受け、各学校に危機管理意識を徹底させ職員が目が生徒に行き届くようにするため来校者にはIDカードを着用の義務づけなど、県の教育委員会が方針を出しました。このことを受け藤岡市では、どのように危機管理を徹底させ意識改革を行うのか伺います。

【答】 有事の際に最優先させるのは生命に関わる事であり、子供の逃がし方など安全確保の知識、行動、訓練が必要です。施設面の対応や訓練の計画的な実施、他機関との連携などを通して学校の安全体制を見直すと共に教職員が危機管理意識を常に持ち続けるよう指導してまいります。

藤岡中央高校新設に伴う

諸問題について

問 教育長は高校再編についての説明会や検討会あるいは校長会などに出席していただき、新天地に藤岡中央高校が建設された場合、藤岡市内の生徒は今まで以上に進学を希望すると思っていたのか伺いたい。

千万円をはじめ莫大な投資が必要になるが、これをカバーするだけの利点はあるのか伺いたい。

答 インフラ整備で大変な財源が必要だということだが、何を計画するかによって、その辺が大分変わってくると思うので、大きな投資でなく、市民に喜ばれる場所にしていきたい。

森林政策について

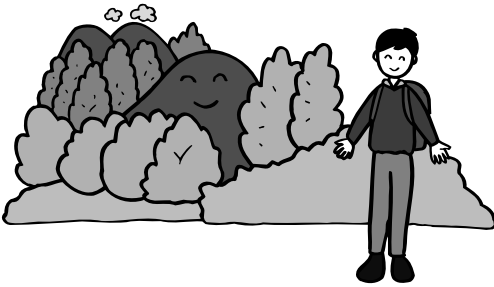
問 藤岡中央高校は今の時代に即した新しい教育課程にのっとりて学習等を進める高校であります。入学を希望する生徒にとつて、学習内容と同時に部活動や施設面等においても魅力あるものであれば、より多くの生徒が入学を希望するであろうと考えておりました。

問 水田の減反政策では、他の作物へ転作すれば奨励金的なものが給付されているように、衰退している林業を活性化させるためには、意欲のある林業家に対しても、そのような形のを直接払ってやれるような方策が必要と思われすが、その考えはないか伺いたい。

問 新天地に藤岡中央高校を建設することによって、藤岡高校跡地の購入費の9億7

答 これは新たな政策への提言と思いますが、現在、国では森林整備地域活動支援推進事業を進めておりま

す。これは林業家が森林整備の計画を立て、市と契約を結び、計画に沿って森林の現況調査、歩道の整備など行くと、1ヘクタール当たり1万円を支払うもので、藤岡市もこれを支援しております。新たな直接支払のような制度については、藤岡市全体事業の中でのバランスを十分考慮し、藤岡市の財政負担を少しでも抑え、国や県の補助金を活用し森林整備を推進することで対応したいと考えております。



市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局(☎221211内線2361)へ

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(6月上旬公開予定)をご覧ください。

編集後記

春風が若葉に薫る季節となりました。

平成17年第1回定例市議会において、平成17年度一般会計予算をはじめ各議案の審議を行いました。

一般質問では11名の議員から、学校教育や学校の安全の問題、行財政改革、雇用対策、産業廃棄物最終処分場問題等、市民生活に直面する問題について活発に質疑応答が行われました。

「議会だより」も第30号となりました。市民の皆様に議会活動がより一層ご理解をいただけるような、わかりやすく読みやすい「議会だより」にしていきたいと思っております。

今後とも、よろしくお願いいたします。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 反町 清 |
| 副委員長 | 斉藤千枝子 |
| 委員 | 串田 武 |
| 委員 | 木村 喜徳 |
| 委員 | 青柳 正敏 |
| 委員 | 清水 保三 |
| 委員 | 吉田 達哉 |
| 委員 | 久保 信夫 |

議案等審議結果(3月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告1号	専決処分報告について(損害賠償の額を定めることについて)	報 告
報告2号	専決処分の承認を求めることについて(群馬県六市自転車競走組合理約の変更について)	承 認(全員一致)
第1号	教育委員会委員の任命について	同 意(全員一致)
第2号	藤岡市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第3号	藤岡市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第4号	藤岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第5号	藤岡市税条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第6号	藤岡市障害児学童保育所の設置及び管理に関する条例の制定について	撤 回
第7号	藤岡市農産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の制定について	撤 回
第8号	藤岡市小口資金融資促進条例の一部改正について	可 決(多数)
第9号	藤岡市都市公園条例の一部改正について	可 決(多数)
第10号	新町の廃置分合による多野藤岡広域市町村圏振興整備組合からの脱退に伴う財産処分に関する協議について	否 決(少数)
第11号	新町の廃置分合による多野藤岡医療事務市町村組合からの脱退に伴う財産処分に関する協議について	否 決(少数)
第12号	新町の廃置分合による藤岡、吉井、鬼石環境衛生事務組合からの脱退に伴う財産処分に関する協議について	否 決(少数)
第13号	新町の廃置分合による藤岡市・新町ガス企業団からの脱退に伴う財産処分に関する協議について	可 決(多数)
第14号	市道路線の廃止について	可 決(全員一致)
第15号	市道路線の認定について	可 決(全員一致)
第16号	平成16年度藤岡市一般会計補正予算(第5号)	可 決(全員一致)
第17号	平成16年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可 決(全員一致)
第18号	平成16年度藤岡市老人保健特別会計補正予算(第2号)	可 決(全員一致)
第19号	平成16年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可 決(多数)
第20号	平成16年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第21号	平成16年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第2号)	可 決(全員一致)
第22号	平成16年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可 決(全員一致)
第23号	平成16年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第24号	平成16年度藤岡市水道事業会計補正予算(第1号)	可 決(全員一致)
第25号	平成17年度藤岡市一般会計予算	否 決(少数)
第26号	平成17年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	撤 回
第27号	平成17年度藤岡市老人保健特別会計予算	撤 回
第28号	平成17年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	撤 回
第29号	平成17年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	撤 回
第30号	平成17年度藤岡市学校給食センター特別会計予算	撤 回
第31号	平成17年度藤岡市下水道事業特別会計予算	撤 回
第32号	平成17年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	撤 回
第33号	平成17年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	撤 回
第34号	平成17年度藤岡市水道事業会計予算	撤 回
第35号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	可 決(全員一致)
議員提出議案		
第1号	郵政事業経営形態に関する国への意見書の提出について	可 決(多数)
第2号	産業廃棄物最終処分場の設置反対に関する意見書の提出について	可 決(全員一致)
請 願		
第8号	郵政事業経営形態に関する国への意見書提出の請願	採 択(全員一致)
第1号	「人件侵害の救済に関する法律」の早期制定を求める請願	趣旨採択(多数)
陳 情		
第3号	産業廃棄物最終処分場設置反対を求める陳情	採 択(全員一致)

議案等審議結果(3月臨時会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
第36号	藤岡市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	可 決(全員一致)
第37号	藤岡市障害児学童保育所の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(全員一致)
第38号	藤岡市農産物処理加工施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決(多数)
第39号	平成17年度藤岡市一般会計予算	可 決(多数)
第40号	平成17年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計予算	可 決(多数)
第41号	平成17年度藤岡市老人保健特別会計予算	可 決(全員一致)
第42号	平成17年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計予算	可 決(全員一致)
第43号	平成17年度藤岡市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可 決(全員一致)
第44号	平成17年度藤岡市学校給食センター特別会計予算	可 決(多数)
第45号	平成17年度藤岡市下水道事業特別会計予算	可 決(全員一致)
第46号	平成17年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計予算	可 決(多数)
第47号	平成17年度藤岡市簡易水道事業等特別会計予算	可 決(全員一致)
第48号	平成17年度藤岡市水道事業会計予算	可 決(多数)